

第5回災害対策本部会議概要

日時	令和元年 10月 14日 (月) 14:00
場所	市役所本庁舎 2階 正庁
出席者	市長、吉崎副市長、菅野副市長、各特別職、各部局長、国土交通省東北地方整備局、県中地方振興局、陸上自衛隊、郡山警察署、郡山北警察署、消防本部、郡山市消防団、郡山市社会福祉協議会 ※横山信一復興副大臣、若松謙維参議院議員、今井久敏県議会議員出席

【横山復興副大臣】

- ・政府では11日に連絡調整会議、13日に災害対策本部設置。
- ・被災地全般の情報収集に当たっている。谷田川決壊現場、中央工業団地を視察した。
- ・引き続き災害対策をお願いしたい。

【若松参議院議員】

- ・3か年緊急対策が間に合わなくて申し訳ない。
- ・明日から予算委員会であり、地元の方の声をしっかり持ち帰る。

【今井県議会議員】

- ・逢瀬川の築堤を進めていたが、間に合わず残念。

【市長】

- ・逢瀬川、梅田ポンプ場界隈の現地を視察した。道路上の汚泥が残っている。屋内の浸水もひどく、家具建具の処分等、災害ごみをいつ収集するのかとの声が多い。いつから可能か、時期について発信すること。
- ・富久山クリーンセンターが完全に機能停止。再建なのか、修理なのか、財源等も踏まえて調査すること。
- ・田村町宇津峰山の登山口の橋に流木が掛かっており今後の崩落が不安。
- ・中田町の水田について、半分は刈り取り前と思われる。農林部で情報収集すること。また、中田町は山裾の民家が多く、法面の崩落等に注意すること。
- ・笹川大善寺線の開通により、R49の迂回路として活用された。
- ・日大工学部内の水は引いたが泥が残った状態である。
- ・報道機関の皆様には、災害車両の妨げとならないよう不要不急の外出を控えるよう呼び掛けたい。

【吉崎副市長】

- ・永盛～徳定～安積行政センター周辺の被害状況の現地確認を行ってきたが、人命救助は完了した模様。

- ・古川ポンプ場が正常に稼働し、現地から感謝の声をいただいた。
- ・次はゴミ問題。畳、マット等が出されている。通常の粗大ゴミは控えてもらう必要がある。
- ・各種支援制度については、準備が出来次第発表したい。
- ・ヘドロの処理に大量の水を使用するため、水道料の減免対応も必要。
- ・赤木小学校、永盛小学校等、復旧再開を優先されたい。

【菅野副市長】

- ・阿久津～逢瀬川北側等の被害状況の現地確認を行ってきた。288号線富久山自動車学校前が水没状況。
- ・安原～阿久津の農家によると、野菜に関しては共済保険をかけていない場合が多く、今後の支援が必要と考える。
- ・災害ゴミの問題は、自宅に置けない市民もいる。洗浄に大量の水道水を使用するため、水道料の減免も要検討。

【市長】

- ・水没した箇所について水が上がった箇所に目印を付していただき、今後の参考としたい。
- ・ボランティアの受入態勢を早めに整えること。
- ・内水対策として地下貯留槽を6箇所設置したが、河川からの逆流等については、国・県に願うより仕方ない。阿武隈川は湾曲していたりするが、河川がスムーズに流れることが重要。全流域に渡って国にお願いしたい。

○上下水道局長

- ・市内の断水箇所は、阿武隈川東岸の1世帯のみ。

【今井県議会議員】

- ・屋根まで冠水した世帯もあり、住む場所の確保の検討が必要である。

○建設交通部長

- ・被災者向けに市営住宅75戸確保済。3ヶ月無料だが最大1年間まで延長可。不足する場合は、県営住宅にも協力要請する。

【吉崎副市長】

- ・支援体制はできるだけパッケージで発表されたい。

【市長】

- ・各種支援策については、ウェブサイトで早急にお知らせすること。

○保健福祉部長

- ・避難所での急病等の報告はない。

○保健所長

- ・消毒は水が引いてからとなる。現時点で 12 件要請。7 件完了。

○生活環境部長

- ・ゴミ収集の問合せが多いため、極力早く対策を立てたい。平成 23 年の水害時のゴミ処理は、9 割方富久山クリーンセンターで行ったが、今回は富久山クリーンセンターの被災により河内クリーンセンターのみでの対応となるため、大変厳しい状況。河内埋立処分場等に仮置場を設置し、当面对応の予定。事業者とも調整中。

○こども部長

- ・永盛保育所、星の子保育園（星病院）が床上浸水で閉所。永盛は道路が狭く泥の運び出しに苦戦。

○農林部長

- ・水稻の刈入を済ませた水田は 5 割に満たない。共済（保険）は任意であり、今後は利子補給等、国・県の制度を見ながら対応を検討する。
- ・野菜は安原、大平地区等で、ねぎやサトイモの被害大。水稻被害は確認中。
- ・ビニール（ガラス）ハウスの被害も大きく、7 班体制で巡回中。

○産業観光部長

- ・中央工業団地の全域が相当な浸水被害となっている。
- ・観光地の土砂崩れの状況も確認が必要である。

○建設交通部長

- ・排水できていない内水はポンプの状況を見ながら排水を続ける。

【市長】

- ・国（国交省）に対しても要請し、通学路等優先で進めること。

○学校教育部長

- ・正午現在、明日の休校は小泉小、永盛小、赤木小、芳賀小、小原田中の 5 校。

【若松参議院議員】

- ・高齢者の畳出しは大変。ボランティア、自衛隊の要請をしてはいかがか。

○東北地方整備局

- ・路面清掃車手配中。ヘリによる阿武隈川巡回を行っている。

○自衛隊

- ・県の要請により朝から谷田川、徳定、金屋、水門町地区の巡回実施中。

○郡山警察署

- ・行方不明者の捜索に続き、避難所、空き家の警戒を実施する。

○社会福祉協議会

- ・明日(10/15)、ボランティアセンターを立ち上げる。まず、入れる場所から入り、ローラー作戦を実施する。また東部にサテライトを設置する考えである。

○上下水道事業管理者

- ・水門町、芳賀地区から早期復旧、ゴミの収集、支援制度など6項目の要望書をいただいた。

○総務部長

- ・明日、相談窓口及びコールセンターを正庁に設置する。対策本部会議は特別会議室で開催する。

○政策開発部長

- ・被災した皆様への各種支援の案内を整理中。様式等をWEBに載せる。
- ・ゴミの対応等、できるところから順次発信していく。

○生活環境部長

- ・ゴミ対応については、生活環境部のみでは対応困難、全庁的に派遣要請したい。
- ・ボランティアと職員の役割分担について検討する。